

物語の運命：桃太郎話の構造分析とテキスト生成の可能性

Fate of Story: Structure Analysis on Momotaro-hanashi and Possibility of Text Generation

森田 均[†]
Hitoshi Morita

[†]長崎県立大学
University of Nagasaki
morita@sun.ac.jp

Abstract

The purpose of this article is to convert the method of the literary research from the reception of the literary work to the text generation.

Keywords — Folk Tale, Text Analysis, Text Generation

1. はじめに

本研究は、誰でもが知っている物語「桃太郎」を素材とする。だが、誰もが知っているがそれらは必ずしも全て同じではない。この物語には、今日でも絵本の他に[5]など正義と悪の関係を逆転させる話型などが出現している。[7]は、[14] [20]から抽出したものに、ネット上に公開されているテキストを加えて全国に散見される計 63 件の桃太郎話を以下のような尺度によって比較検討している。

- 桃：数、色、呼び寄せ方
- 回春型、果生型
- 桃をしまう場合、桃をしまわない場合
- 爺・婆の反応
- きび団子
- 木を抜く桃太郎
- お供：種類、その他のお供
- 鬼ヶ島の記述
- 鬼の倒し方
- 帰還

一方で「みんな違って面白い」をサブタイトルとする[20]は、[3]に先行する資料編の全巻を網羅すると全国で流布している桃太郎話は 680 種類を

上回ると述べている。本研究の方針としては「桃太郎」を[8] [11]のような悉皆調査ではなく、[9] [10]で示したテキストと実世界との関係について考察する、社会によって翻弄された物語の変容を構造的に示し、新たなテキスト生成の可能性を示す事例とする。

2. 桃太郎話の成立と変遷

この物語は、江戸時代までは桃太郎が桃から生まれた「果生型」ではなく桃を食べて若返った婆から産まれた「回春型」であったことが指摘されている[13]。ここでは回春型から果生型へと転換した要因をテキストの外側から検討する。

3. 硯友社

[22]では硯友社一派による桃太郎話の特徴が記されている。尾崎紅葉「鬼桃太郎」と石橋思案「是非御覧日本一」は桃太郎の後日譚であり、前者は桃太郎に退治された鬼ヶ島に鬼桃から産まれた鬼桃太郎が復讐を企てるというもの、後者は桃太郎と乙姫の間に産まれる玉のために使われる安全分娩用具の「広告文学」とされている。一方でこれらは回春型から果生型転換への過渡期の作品と考えることも可能であろう。これに対して巖谷小波「桃太郎」[4]は果生型で宝物を持ち帰るという「普通」の話である。しかし[22]でも指摘されているように、饒舌さの中に「日本一」や「皇国」などの文言があり、ナショナリズムの影を見出すこともできる。

4. 教科書

1887（明治 20）年の『尋常小学読本』に掲載されたのが初めてであるが、[13]には原文が引用されその変遷ぶりが検討されている。ここでは、明治時代に小学校の教科書に掲載されたことによって、この物語が被った 2 種類の変容について指摘しておきたい。一つは、果生型の定着である。生殖・誕生・婚姻を捨象することで小学校に「相応しい」話型を整えたものと考えられる。二つめは、物語の平準化と全国的な浸透である。昔話や民間説話は、文化や経済的特色、話者による相違など地域特性を有しているものであるが、教科書という強制力によって、物語の平準化が行われ、どこにでもある話となってしまったと考えられる。

5. 柳田國男

[23]において桃太郎話とは神性を帯びた「小公子」の話であるとして様々な異型を収斂させる方向性が示されている。[15]は当然ながらフィクションであるが、民俗学研究と国家の体制維持との間で辻褄を合わせる必要に迫られる出来事が描かれている。なお、民俗学と文学、換言すれば声の文化と文字の文化の優位性争いは、メディア特性による相違だとする相対的な結論が無難ではあるが、[12]は神話の構造に世界的な共通性があることをコミックによって表現している。

6. 第二次大戦中の長編アニメ

第二次大戦中に桃太郎を主人公とする 2 編の長編アニメが製作された。筆者は双方とも視聴することができたが、戦意高揚を目的としているものと考えられる。[18]について[22]には、「侵略主義のシンボル、軍国主義の旗手として桃太郎」が描かれており、ストーリー展開は真珠湾攻撃と軌を一にしている、という指摘がある。[19]は、大日本帝国海軍による南方支配の構図が下敷きとなっており、海軍兵士による日本語教室の様態などが描かれている。そもそも侵略に合理的意義や動機など存在するわけが無く、ここに後述する「動機無き鬼退治」との親和性を見出すことができる。

7. 構造

前章では成立過程から「桃太郎」を概観したが、ここでは[7]がまとめた 63 件の具体例に関して物語の構造から考察を行う。表 1 に構造から検討すべき点をまとめた。

表 1 構造から検討する「桃太郎」

どのような誰が	桃から生まれた	婆から生まれた
誰と	犬・猿・雉	蟹・臼・糞・縄・他
何の目的で		
何をして	鬼退治	
どうなった	宝物を持ち帰った	嫁を連れてきた

8. 引かれたもの

「桃太郎」から剥ぎ取られたのは、「婆から生まれた」という回春のモチーフ及び「嫁を連れてきた」という妻覓ぎ冒険譚のモチーフである。「桃から生まれた」という果生型に限定されて行ったのは教科書への採択が最大の要因と考えられる。生殖や婚姻を脱落させたのは、幼児向きに単純化させたためという解釈[2]がある。この点に関しては、[23]と[17]で異なる見解が示されている。なお、[6]は果生型ながら結末を妻覓ぎとする特異な話型となっている。

9. 足されたもの

一方で「桃太郎」で語られることが稀であるのは「なぜ鬼退治へ出かけるのか」という目的の部分である。救援要請や殿様からの命令という明確な動機づけが示されているものがあることはあるが、ほとんどは「鬼は鬼であるから退治する」という暗黙の了解に基づいている。戦時中のアニメは、侵略行為の動機や理由を明確化することを避けており、まさにこの「動機無き鬼退治」と同じモチーフとなる。これによって物語本体では欠落していても、話者や受け手によって動機や理由を補完することが可能となる。

10. お供の諸変奏

桃太郎が鬼ヶ島へ至る道中で主従関係を結ぶお供

は、犬と猿と雉という設定が一般的である。ところが、話の中で全くお供が登場しないもの、また蜂、白、牛糞などがお供となるケースや柿太郎など「力太郎」系統との混交も散見される。このように、お供の数、種類ともに必ずしも一定ではない。

11. 比較

前章まで、「桃太郎」という物語がどのように社会からいじくられたのかを明らかにしてきたが、ここでは「桃太郎」をいじくることによってどのようなテキストが生成可能となるかを検討したい。

12. 比較対象としての五大昔話

[2]は、日本の五大昔話として以下を掲載している。

- 桃太郎
- 猿蟹合戦
- 舌切り雀
- 花咲爺
- かちかち山

しかし昔話の代表をこの5点とすることに特に根拠は無く、「浦島太郎」その他の昔話を取り入れている場合もあると記されている。本研究では5点の是非を問うよりも、桃太郎と比較する材料として他の4点を取り扱うこととする。さらに、[3]に掲載されているパロディとして「ももく太郎」も比較対象に加える。

13. モチーフインデックス

昔話あるいは民話を研究する際に使用する尺度としては、アールネとトンプソンによるテールタイプ及びモチーフのインデックス[21]が一般によく知られている。[3]はこれに依拠しつつも日本の昔話に特有の事情を考慮して構築されたユニークなインデックスである。なお、[3]は[16]に言及しているが、機能と登場人物との関係から日本昔話に特有の事情を考慮すると、この理論の適用が難

しいという見解を示している。さらに、日本の民話をモチーフによって分類した[1]もある。

14. 昔話の演算可能性

前述した五大昔話と桃太郎のパロディ話の登場人物とモチーフを比較してみた。「爺」と「婆」は「猿蟹合戦」を除く5点に、「犬」と「猿」そして「白」はそれぞれ2点に登場する。3章で述べたが、「桃太郎」のお供に「猿蟹合戦」が混交する事例を考慮すると、「白」の登場は3点となる。このように登場人物のみを考察しても比較対象には何らかの関連性があるようだが、モチーフで検討すると興味深い仮説を導き出すことができる。

$$\begin{aligned} & (\text{「桃太郎」} + \text{「猿蟹合戦」}) \times \text{「かちかち山」} \\ & = \text{「舌切雀」} \rightarrow \text{「花咲爺」} \end{aligned}$$

この発展仮説では、超自然的成長や動物の援助などをモチーフとする単純な話型のものから、モチーフの複数化を獲得して話型が複雑になっている。

15. テキスト生成の指針

本研究に先立ち、様々な桃太郎話から祖形テキストを生成させる試みを行っている。この祖形テキストについては、再検討を行うなどテキスト変容の具体例として精緻化を図って行く予定である。また、登場人物/動物/物体の入れ替えモチーフの入れ替え目的や動機の再設定も試みることによって新たなテキスト生成へと向かうことができる。社会によって「いじくられた」物語をこれ以降もどのように「いじくる」のか実例を示してみたい。

参考文献

- [1] Ikeda, H.: A type and motif index of Japanese folk-literature, Suomalainen Tiedeakatemia, 1971.
- [2] 稲田浩二, 他・編: 日本昔話事典, 弘文堂, 1978.
- [3] 稲田浩二: 昔話タイプ・インデックス, 日本昔話通観第28巻, 同朋社出版, 1988.

- [4] 巖谷小波: 日本昔噺, 平凡社, 2001.
- [5] ST 桃太郎伝説殺人ファイル, 講談社, 2007.
- [6] 松居直・文, 赤羽末吉・絵: ももたろう, 福音館書店, 1965.
- [7] 溝越悠: 桃太郎話の研究 物語論から見た桃太郎話, 県立長崎シーボルト大学国際情報学部情報メディア学科 2009 年度卒業論文, 2010.
- [8] 森田均: 文学テキストのハイパーテキスト変換—コンピュータを利用したテキスト研究の新展開, 雄松堂, 2007.
- [9] 森田均: テキストの外側, 人工知能学会全国大会(第 22 回)論文集 CD-ROM, 2008.
- [10] 森田均: テキストの外側再訪, 人工知能学会全国大会(第 23 回)論文集 CD-ROM, 2009.
- [11] 森田均: テレビ番組分析手法の精緻化へ向けて —平和式典と長崎くんち—, 国際情報学部研究紀要第 10 号, 長崎県立大学, 2009.
- [12] 諸星大二郎: マッドメン, 集英社, 2010.
- [13] 滑川道夫: 桃太郎像の変容, 東京書籍, 1981.
- [14] 野村純一: 新・桃太郎の誕生, 吉川弘文館, 2000.
- [15] 大塚英志・原作、森美夏・画: 北神伝綺 (上 - 下), 角川書店, 1997-99.
- [16] Пропп, В. Я.: Морфология сказки, Изд.2е, Наука, 1969. (プロップ著, 北岡・福田・訳, 昔話の形態学, 水声社, 1987.)
- [17] 関敬吾: 日本昔話大成第 3 巻本格昔話二, 角川書店, 1978.
- [18] 瀬尾光世・演出: 桃太郎の海鷲, 芸術映画社, 海軍省後援, 1943.
- [19] 瀬尾光世・脚本演出: 桃太郎 海の神兵, 松竹, 海軍省後援, 1945.
- [20] 立石憲利: 桃太郎話, 岡山市デジタルミュージアム, 2006.
- [21] Thompson, S.: The Folktale, Holt, Rinehart and Winston, Inc., 1946. Reprinted 1977 by the University of California Press. (荒木・石原・訳, 民間説話, 社会思想社, 1977.)
- [22] 鳥越信: 桃太郎の運命, ミネルヴァ書房, 2004.
- [23] 柳田國男: 桃太郎の誕生, 定本柳田國男集 第 8 卷, 筑摩書房, 1982.